

## 国際交流 活動報告

## ● 公開文化講座 国際ボランティアの経験から～異文化から学ぶ

9月15日、2019年度移情閣友の会交流事業の一環として開催された舞子公園内のBBQ大会終了後、移情閣1階ホールで文化講座を受講しました。演題は「国際ボランティアの経験から～異文化から学ぶ～」で、講師は「神戸国際教育RI」の代表を務められている酒井正人先生という方です。

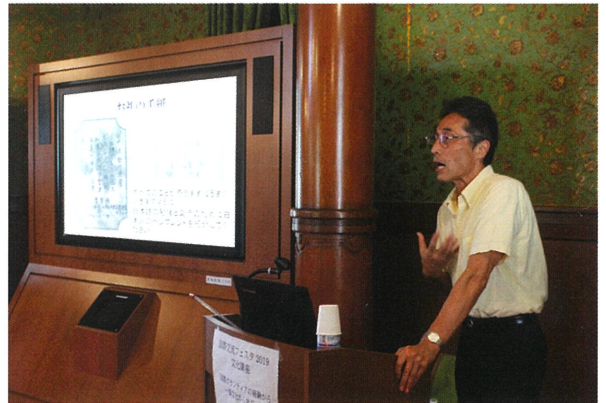
酒井先生は、サントリー勤務の後、神戸市立の小学校で22年間の教職生活を経験されましたが、この間に上海日本語学校に派遣されたり、青年海外協力隊員として天津で日本語教師を務められたりとお若い時から中国大陆で日本語教育に携わっていらっしゃいます。教職をご退職後は、国際交流ディレクターとして上海・北京に、また長年続けていらっしゃる水泳指導により、JACAシニアボランティアとしてミャンマーのパラリンピック水泳コーチに招聘されたり、リオパラリンピックのNHK水泳競技解説、ネパールパラ水泳チーム、上海少年少女クラブ、地域の子供水泳教室等々と、日本語教育だけでなく水泳指導を通じた幅広い国際交流活動に今なお精力的にご活躍中です。中国には通算11年間居住されたとか。

「キャリアや仕事上の繋がりを生かすことで、自ら道を切り開き、国際交流という新たな世界を広げていくことができる。自分の好きなことを細々

と続けていると社会と繋がる。財産はコミュニケーション。『ありがとう。日本語が上手になった。』と言われることが嬉しいし、これが財産だと言える。①好きなことをする。②人が喜んでくれることが、生き甲斐。③社会と繋がること。自分の中で、水泳と教育と国際交流がリンクしている」とのお言葉を今後の国際理解やボランティア活動の指針に致します。

また、ご長女を含むご家族のご理解や支えが活動には不可欠なのではないかと、別の視点でも拝察いたしました。

(中国文化同好会・金川幾久世)



## ■ 関帝廟見学&amp;精進料理の会

8月23日、京都、大阪からの会員を含め36名が参加しました。新規入会者は4名でした。今年は5回目、林同福会長の案内で中国お盆の行事について理解を深め、境内を参拝した後、美味しい精進料理に舌鼓をうちながら、親睦と交流を図ることができました。(後藤みなみ)

